

(令和元年 5 月試験研究業務月報)

試験研究課題名：洗浄機とファインバブル発生機等を活用したエビイモ貯蔵技術の開発

研 究

## エビイモの調製省力化試験と長期貯蔵試験を開始

エビイモ栽培では、収穫後に手作業でイモの土を落とす作業に多大な労力を要し、生産サイドからは機械化による省力技術が切望されています。また、出荷時期後半の 1～3 月は、各生産者の倉庫等で貯蔵したイモを出荷していますが、この間に腐敗するイモが発生し、安定した長期貯蔵技術の開発も切望されています。

そこで、当センターでは、今年度から洗浄機を利用した調製作業の機械化試験および、調製後の腐敗防止処理を検討します。

試験を開始するに当たり、5 月 9 日にエビイモ苗を定植しました。今後、11 月頃に収穫したイモを調製の省力化と腐敗防止処理の試験に供試する予定です。



順調に生育したエビイモ苗（成葉約 2 枚）を定植している様子